

三沢市立三沢病院での外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 薗田和奏

1か月間の外科実習では、初日から術野に入らせていただき、大学病院では経験できなかった症例や手技を多く見学・体験することができました。手術では、血管や筋肉などの解剖を確認しながら進めてくださり、理解が不十分だった部位も徐々に把握できるようになりました。また、糸結びやカメラ持ち、縫合、金鉤引きなど、実際に手技を行う中で初めて分かる難しさやコツを体得することができました。



術場のみならず、回診の場でも抜鉤やドレーン抜去を経験させていただきました。実際に自分が処置に関わることで、症例ごとにどこに注目するべきか、また先生方がどのような判断基準で処置のタイミングを決めているのかを学ぶことができました。さらに、回診前に患者さんの状態を確認し、当日の方針を予測しながら臨むことで、より主体的に情報収集を行えるようになりました。

初めての土地で不安も多い中で始まった三沢病院での実習でしたが、先生方やスタッフの皆さまが温かく迎えてくださり、毎日とても楽しく、充実した時間を過ごすことができました。歓迎会や慰労会だけでなく、マラソンリレーにも参加させていただき、素晴らしい思い出となりました。

最後になりますが、1ヶ月間にわたり多くのことを学ばせていただいた外科の池永先生、米内山先生、梅村先生をはじめ、三沢病院のスタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。

実習期間：2025.10.14～2025.11.7